

わくわくがわくわく

2026年 1月30日
第23号

＜発行＞
社会福祉法人
名古屋キリスト教社会館
発行責任者 小原貴史

東部地域療育センターぽけっと
〒464-0032
名古屋市千種区猫洞通1-15
TEL 052-782-3388

発達センターちよだ
〒463-0053
名古屋市守山区小幡千代田24-17
TEL 052-792-7277



そとで遊ぶと、楽しいね、気持ちいいね！



本年もよろしくお願いいたします

子どもたちを取り巻く状況の変化を感じながら2026年への挑戦

守山区にある「発達センターちよだ（以下ちよだ）」、「千種区にある「東部地域療育センターぽけっと（以下ぽけっと）」は、「社会福祉法人名古屋キリスト教社会館（本都南区）」が運営しています。当法人は一九五九年におこった伊勢湾台風後の救援活動から一九六〇年に設立され、六五周年を迎えました。また私たちが名古屋市東部地域で事業を開始してからも、ちよだは二十年以上、そしてぽけっとは十年が経過しました。地域のみなさま、関係機関のみなさま、そして何より利用者のみなさまにご理解・ご協力いただき、今日まで事業を継続でき、また新たな年を迎えることができました。年頭にあたり、書面上ではありますが、感謝申し上げます。

この数年は世界のあちこちで終わりのみえない『戦争』が続き、身近なところでも“全国的な感染拡大”“突然の自然災害”“先がみえない物価高騰”など、生命や生活を揺るがす不安な出来事が続いています。社会生活や家庭生活にも大きな変化が見られ、子どもたちの生活や状況も様変わりしてきていると感じています。もちろん悪いことばかりではなく、その道が作られてきたり、新しいおもちゃが作られてきたり、いろいろな面もあ



ます。福祉や医療の面でも、新しい制度や資源も広がってきています。状況や時代に合わせた検討が進められてきています。親御さんたちの生きがいや生活保障のための子育て支援制度や、子どもたちの状況に必要な生活保障や発達保障の制度、困難性を抱える子どもたちへの生活・発達支援のための制度や事業の検討・実施（試行的な内容も含め）など、この数年で大きな変化の波が押し寄せてきていると、日々の業務の中でも実感しています。

ぽけっとでは二〇二〇年から「地域支援調整事業」、二〇二三年より「医療的ケア児支援スーパードバイザーモデル事業」など、新たな事業として始まってきました。ちよだでは今年度より通園の定員を拡大し、（二五名→三〇名）、地域の関係機関と子育て支援のための新たな事業検討などを進めてきています。家庭生活の変化や、子どもたちの就園・進路選択の変化・発達状況の変化などを肌で感じながら、「何が必要なのか」「自分たちの役割は何なのか」と日々悩みながら、試行錯誤を続けてきています。

加速度的な変化になかなか追いつけないでいる自分たちですが、大切にしていきたい子どもたちの笑顔や“子どもたちへの願い”を忘れる



ことなく、ご家族や多くの地域・関係機関の方たちと共に、新たな一年に向かっていきたいと思います。

『二〇二六年はどんな一年になるのか？』不安と期待を抱きながらも、みなさまにとって、私たちにあって、新たな挑戦の第一歩になることを願いつつ、二〇二六年の幕開けを迎えたいと思います。

今年も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

東部地域療育センター
ぽけっと 相談診療部
部長 松澤裕美子

寄附・寄贈のご報告
利用者、地域の方から寄贈 寄付をいただきました。

松本 一樹様
下野 新青様
（おもちゃの寄贈）
蟹江 雅司様
（絵本文庫集）
鈴木 雄大様
（子どもの室内遊具、ボールプールなど）
ありがとうございます。大切にに使わせていただきます。



